

明治学院大学 国際学部30周年記念 2016年度 公開セミナー開催



明治学院大学に国際学部が創設されて30年がたちました。この30年は、社会にとっても、大学にとっても、学問にとっても大きな変化の期間でした。いま大学における学問は、とりわけ社会科学は、その存在意義が問われています。学問はどこから来て、どこに向おうとしているのか。その最先端で活躍している人たちを招き、考えていきたいと思います。

国際学部附属研究所所長 高橋 源一郎

社会科学の過去・現在・未来

明治学院大学 横浜キャンパス7号館 720教室

JR戸塚駅東口バスターミナル8番乗場江ノ電バス「明治学院大学南門」各乗車約10分、終点下車すぐ

各回いずれも 16時45分～18時15分 定員500名

無料

申込不要
(先着順)

構内・近隣
駐車場
ありません

9月

- ① 20日(火) 白井 聡 思想家 政治学者 京都精華大学 対談 高橋 源一郎
- ② 27日(火) 古市 憲寿 作家 評論家 東京大学大学院在籍 対談 高橋 源一郎

10月

- ③ 4日(火) 三浦 瑠麗 国際政治学者 東京大学政策ビジョン研究センター 対談 高橋 源一郎
- ④ 11日(火) 木村 草太 法学者 首都大学東京 対談 高橋 源一郎
- ⑤ 18日(火) 鈴木 涼美 社会学者 作家 対談 高橋 源一郎
- ⑥ 25日(火) 荻上 千キ 評論家 編集者 対談 高橋 源一郎

11月

- ⑦ 8日(火) 佐藤 信 政治学者 東京大学先端科学技術研究センター 対談 原 武史
- ⑧ 15日(火) 藤田 孝典 社会福祉士 社会運動家 聖学院大学 対談 高橋 源一郎
- ⑨ 22日(火) 中島 岳志 政治学者 歴史学者 東京工業大学 対談 高橋 源一郎
- ⑩ 29日(火) 國分 功一郎 哲学者 高崎経済大学 対談 高橋 源一郎

12月

- ⑪ 6日(火) 原 武史 政治学者 放送大学 明治学院大学名誉教授 対談 高橋 源一郎
- ⑫ 13日(火) 加藤 典洋 文芸評論家 早稲田大学名誉教授 対談 高橋 源一郎
- ⑬ 20日(火) 仁藤 夢乃 社会活動家 女子高生サポートセンター-Colabo代表 対談 高橋 源一郎

2017年 1月

- ⑭ 10日(火) 高橋ゼミ生
- ⑮ 17日(火) シークレットゲスト 対談 高橋 源一郎

プログラム内容は変更の可能性があります。
最新情報は、下記WEBをご覧ください。

白井 聡 しらいさとし 1977年生まれ
思想家、政治学者、京都精華大学専任講師。
専門は社会思想、政治学。
『永続敗戦論 戦後日本の核心』太田出版、2013年。
『戦後政治を終わらせる 永続敗戦の、その先へ』NHK出版
新書、2016年。
『属国民主主義論 この支配からいつ卒業できるのか』内田樹
共著、東洋経済新報社、2016年。

三浦 瑠麗 みうらるり 1980年生まれ
国際政治学者。東京大学政策ビジョン研究センター
講師。専門は国際政治学、比較政治学、政軍関係理論。
『シビリアンの戦争 デモクラシーが攻撃的になるとき』
岩波書店、2012年。
『日本に絶望している人のための政治入門』文春新書、2015年。
『戦争と平和と日本人』河出書房新社編集部編『戦争思想
2015』河出書房新社、2015年。

鈴木 涼美 すずき すずみ 1983年生まれ
社会学者、作家。
『「AV女優」の社会学 なぜ彼女たちは饒舌に自らを語るのか』
青土社、2013年。
『身体を売ったらサヨウナラ 夜のオネエサンとの愛と幸福論』
幻冬舎、2014年。

佐藤 信 さとう しん 1988年生まれ
政治学者、東京大学先端科学技術研究センター助教。
『60年代のリアル』ミネルヴァ書房、2011年。
『鈴木茂三郎 1893-1970 統一日本社会党初代委員長の生涯』
藤原書店、2011年。
『講事堂をめぐる政治 国会議事堂研究序説』御厨貴・井上章一
編『建築と権力のダイナミズム』岩波書店、2015年。

藤田 孝典 ふじた たかのり 1982年生まれ
社会福祉士、社会運動家、聖学院大学客員准教授。
『ひとりも殺させない それでも生活保護を否定しますか』
堀之内出版、2013年。
『下流老人 一億総老後崩壊の衝撃』朝日新書、2015年。
『貧困世代 社会の監獄に閉じ込められた若者たち』講談社
現代新書、2016年。

國分 功一郎 くくぶんこういちろう 1974年生まれ
哲学者。高崎経済大学准教授。
主な研究対象は17世紀哲学、現代フランスの哲学。
『暇と退屈の倫理学』太田出版、2011年。(2015年増補新版)
『来るべき民主主義 小平市都道328号線と近代政治哲学
の諸問題』幻冬舎、2013年。
『民主主義を直感するために』晶文社、2016年。

仁藤 夢乃 にとう ゆめの 1989年生まれ
社会活動家。女子高生サポートセンターColabo代表。
『難民高校生 絶望社会を生き抜く「私たち」のリアル』英治
出版、2013年。
『女子高生の裏社会「関係性の貧困」に生きる少女たち』
光文社新書、2014年。
『少女たちのいま』ネットワーク編集委員会編『授業づくりネッ
トワークNo.19—格差と授業』学事出版、2015年。

国際学部附属研究所
国際学部附属研究所は、国際学に関する学際的な共同
研究ならびに個人研究を誘発し、これらを実施、推進す
るために創立されました。
従来の学問領域の区分を超えた「国際学」の構築を目指
し、共同研究の拠点として所員のあるいは研究員の利
用に供せられています。

古市 憲寿ふるいち のりとし 1985年生まれ
作家、評論家。東京大学大学院総合文化研究科在籍。
『絶望の国の幸福な若者たち』講談社、2011年。
(2015年講談社+α文庫)
『誰も戦争を覚えてくれなかった』講談社、2013年。(2015年
加筆改題『誰も戦争を教えられない』講談社+α文庫)
『保育園義務教育化』小学館、2015年。

木村 草太 きむら そうた 1980年生まれ
法学者、首都大学東京教授。専門は憲法学、公法学。
『テレビが伝えない憲法の話』PHP新書、2014年。
『集団的自衛権はなぜ違憲なのか』國分功一郎 共同討議、晶文
社、2015年。
『ぼくらは未来にどうこたえるか』大澤真幸、小野善康、
中島岳志 共著、左右社、2016年。

荻上 于キ おぎうえ ちき 1981年生まれ
評論家、編集者。専門は、テキスト論、メディア論など。
『僕らはいつまで「ダメ出し社会」を続けるのか 絶望から抜け出す
「ポジ出し」の思想』幻冬舎、2012年。
『彼女たちの売春(ワリキリ) 社会からの斥力、出会い系の引力』
扶桑社、2012年。
『災害支援手帖』木楽舎、2016年。

原 武史 はら たけし 1962年生まれ
政治学者、放送大学教授、明治学院大学名誉教授。
専門は、日本政治思想史。
『思索の源泉としての鉄道』講談社現代新書、2014年。
『皇后考』講談社、2015年。
『「昭和天皇実録」を読む』岩波新書、2015年。

中島 岳志 なかじま たけし 1975年生まれ
政治学者、歴史学者、東京工業大学教授。
専門は南アジア地域研究、近代日本思想史。
『秋葉原事件 加藤智大の軌跡』朝日新聞出版、2011年。
(2013年朝日文庫)
『血盟団事件』文藝春秋、2013年。(2016年文春文庫)
『愛国と信仰の構造 全体主義はよみがえるのか』島園進 共著、
集英社新書、2016年。

加藤 典洋 かとう のりひろ 1948年生まれ
文芸評論家、早稲田大学名誉教授。
講談社ノンフィクション賞、小林秀雄賞選考委員。
『敗戦後論』講談社、1997年。(2015年ちくま学芸文庫)
『戦後入門』ちくま新書、2015年。
『村上春樹は、むずかしい』岩波新書、2015年。

高橋 源一郎 たかはしげんいちろう 1951年生まれ
小説家、文学者、文芸評論家、明治学院大学教授。
『デビュー作を書くための超「小説」教室』河出書房新社、
2015年。
『ぼくらの民主主義なんだぜ』朝日新書、2015年。
『民主主義ってなんだ?』SEALDs 共著、河出書房新社、
2015年。

一般に公開するシンポジウム・セミナー・公開講座の開催は、
<当研究所ホームページ>
<http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/>
で、随時お知らせしています。
刊行した「国際学研究」『研究所年報』は、
<本学図書館機関リポジトリ>
<http://repository.meijigakuin.ac.jp/>
「国際学部」、からご覧いただけます。